

◆災害時の効果的なボランティア活動を目指して◆

平成19年度災害ボランティアリーダー養成研修会を開催

昨年11月27日(火)・28日(水)の2日間、県市町村自治会館(鹿児島市)で「災害ボランティアリーダー養成研修会」を開催しました。今回の研修会は、災害時や平常時において災害ボランティアリーダーとして主導的役割を担える人材の養成を目的に開催したもので、ボランティア団体、特定非営利活動法人、市町村社会福祉協議会関係者等、計58名が参加しました。

【研修会プログラム】

1日目		2日目	
27日(火)		28日(水)	
9:00	受付		
10:00	開講式	非常炊き出し訓練(45分)	9:45
10:20	講義Ⅰ(50分)	移動・休憩	10:30
11:10	休憩		11:00
11:20	講義Ⅱ(40分)	講義Ⅲ(60分)	11:20
12:00	昼食	昼食	12:00
13:00	事例発表(90分)		13:00
14:30	休憩	グループセッション(180分)	
14:40	図上訓練(120分)		
16:40		閉講式(修了証書授与)	16:00 16:30

事例発表

昨年の県北部豪雨災害で災害ボランティアとして活動した3名の方がたに事例を発表してもらいました。

発表者の一人、上釜健児さん(樟南高等学校3年生)は当時の様子を振り返り「被災者はつらいはずなのに笑顔で僕達を受け入れてくれた。災害ボランティア活動を通じ、助け合う大切さを学んだ。」と体験を述べました。



研修会の様子

図上訓練



図上訓練の様子

拡大した鹿児島市北部地区の地図に記載してある道路や鉄道、河川、広場、鉄筋コンクリート、防災資源等を油性ペンや付箋紙で色別し、災害時に鉄道や川により町が分断されることや、救援物資等が通行可能な道路の確認等、町の災害に対する強い点と弱い点を図上で見つけ出す訓練をしました。

非常炊き出し訓練

災害時を想定し、電気を使用せずに移動式ガス釜でご飯を炊く訓練をしました。ハイゼックス(強化ビニール)に米と水を入れ、ゴムで縛り釜の中に入れ炊きあがるのを待ちました。炊き出したご飯は昼食としていただきました。



非常炊き出し訓練の様子

グループセッション



グループ発表の様子

錦江湾で大地震が発生したという想定のもと、災害ボランティアとして必要な物資や関わるべき関係機関、知りたい情報等をグループで協議しました。

グループセッションを通じ、受講者はそれぞれ災害ボランティアリーダーとして自覚を高めていました。